

## 人を対象とする医学系研究にご協力頂いている学生さんへ

本学において、あなたから取得した情報を利用して下記の研究を行います。また、以前に「城西大学管理栄養士養成課程に在籍する学生における健康管理・生活習慣および健康関連アプリの利用実態調査」の研究に参加いただいた際の情報も利用します。研究目的、試料・情報の利用は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、試料・情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、城西大学人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の審査を受け、城西大学学長 藤野陽三の承認を得て行っているものです。

**研究課題名** 「城西大学管理栄養士養成課程に在籍する学生における健康管理・生活習慣および健康関連アプリの利用実態調査 - コロナ禍における健康管理・生活習慣および健康関連アプリの利用の変化 - 」

**● 研究対象者の範囲**

城西大学管理栄養士養成課程に在籍する学生（3・4年生）

**① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）****1) 研究の目的**

わが国において、生活習慣病の予防および改善は重大な社会的課題となっており、その解決には自己の健康管理を進める「セルフメディケーション」が重要である。自己管理に健康関連アプリケーション（アプリ）を用いることの有用性はすでに報告されているが、その利用実態に関する報告はほとんどない。

一方、現在、世界各国において新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により生活様式が一変している。このコロナ禍において、健康意識や健康関連アプリの利用状況にも変化が生じたことが予想される。そこで、コロナ禍にともなう健康管理・生活習慣および健康関連アプリの利用の変化について調査することを目的とし、薬学部医療栄養学科に在籍する学生を対象にアンケート調査を実施する。

これらの調査により、新しい生活様式における健康関連アプリを介した有用な健康の維持・管理の方法の提案に繋がたいと考える。

**2) 研究期間** 2020年12月9日～2022年3月31日

**3) 他の機関への提供の方法**

該当無し

**② 利用又は提供する試料・情報**

個人を特定しないアンケートの記録

③ 利用する者の範囲（研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名）

1) 研究機関名及び研究責任者氏名

城西大学薬学部医療栄養学科薬食相互解析学研究室 日比野康英  
(薬学研究科医療栄養学専攻生体防御学 兼任)

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の所属・氏名

城西大学薬学部医療栄養学科薬食相互解析学研究室 古屋牧子

⑤ 拒否機会の確保（研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること）

アンケート開始後であっても自分の意志で回答を中止することができます。また、研究への参加を拒否されても、不利益等を受けることは一切ありません。ただし、無記名式アンケートであり回収後の削除はできません。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

メール、電話にて受け付ける

※研究対象者等が研究計画書及び研究方法に関する資料を入手又は閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、城西大学薬学部医療栄養学科薬食相互解析学研究室で研究計画書及び研究方法に関する資料の閲覧を行う事ができます。

[研究対象者等及びその関係者からの相談窓口]

担当者 城西大学薬学部医療栄養学科薬食相互解析学研究室 古屋牧子  
電話 049-271-7286 、メールアドレス wada@josai.ac.jp